

海の事故ゼロキャンペーン 海難事故ゼロへの願い

海上保安庁では毎年7月後半に海難防止の関心を深めていただくため、「海の事故ゼロキャンペーン」を実施しており、今年7月16日（水）から7月31日（木）までの16日間実施しました。

宮城海上保安部では、県内の海水浴場開設を前にミヤギテレビの情報番組「OH!バンデス」に生出演し、遊泳中の事故防止を呼び掛けるとともに、当キャンペーンの周知活動を行い、期間中は他機関と協力しマリンジャーを楽しむ人々への安全啓発活動を実施しました。

引き続き「海難事故ゼロへの願い」を込め、官民一体となって海難防止啓発活動を推進します。

▼令和7年の海の事故ゼロキャンペーン実施期間中の事故概要

発生日	種類	事故概要
7月17日	海中転落	一人で釣りに出かけ、防波堤に釣り道具等を残して行方不明となり、後日、付近の海上で遺体が発見された。
7月21日	溺水	サーフィン中に溺れ、病院に搬送されるも死亡が確認された。
7月29日	海中転落	岸壁から漁船に乗り移ろうとした際に誤って海中に転落したものの。



▲テレビ番組「OH!バンデス」放送生出演での呼びかけ



▲東北運輸局との合同パトロール



▲ペットボトルを使った浮力体験



▲海上安全ジュニアサポーター認定証を授与される児童



7月13日（日）に多賀城市民スポーツクラブと協力して市内在住の小学生以上を対象とした「海の安全教室」を多賀城市市民プールで開催しました。

児童は服を着た状態で海に落ちたときの対処法として、仰向けの姿勢で浮いて救助を待つ方法を学んだほか、持参したペットボトルを使って浮く方法やライフジャケットを着用したときの浮力を体験しました。

また、参加した児童には宮城海上保安部交通課長から「海上安全ジュニアサポーター」の認定証が授与されました。

海の安全教室 in 多賀城市市民プール

海上安全指導員指定証交付式

～安全なマリンレジャーを推進するために～

8月8日（金）に宮城県内でも有数の海水浴場である菖蒲田海水浴場（七ヶ浜町）にて、（一社）七ヶ浜町観光協会の鈴木学さん、郷古明領さん、渡邊長敏さんに第二管区海上保安本部から海上安全指導員の指定証を交付し、併せて所有小型船舶2隻に安全パトロール艇の指定書を交付しました。

海上安全指導員は安全なマリンレジャーを推進するため、海での安全に関する周知や啓発活動を自主的に実施している方々をリーダーとして海上保安庁が指名しており、安全活動で使用する船舶を安全パトロール艇と指定しています。

海上安全指導員の指定を受けて七ヶ浜町観光協会の郷古さんは「海水浴シーズンのみならず1年を通して海の事故防止に尽力したい」と意気込みを述べられておりました。



▲海上安全指導員の指定を受けた郷古さん（左）鈴木さん（中央）、渡邊さん（右）